

三浦市立病院に来られる患者さん及びご家族の皆様へ

バンコマイシン耐性腸球菌に関する保菌調査のご報告

平成27年12月に報道がありましたが、薬が効きにくい耐性菌のひとつであるバンコマイシン耐性腸球菌（略称をVREと言います。）を保菌する患者さんが、横須賀市を中心に多数確認されるようになりました。地域医療を推進する当院において、横須賀市内の医療機関や高齢者介護施設との連携は特に重要であることから、当院でも、入院時や入院中の患者さんに対するVREの保菌検査を実施し、地域としての感染対策活動に参画して取り組んできました。これにより、当院においても、入院中の患者さんよりVREが複数例検出されたことから、よりいっそうの感染予防策の強化を行っていくこととなりました。

平成28年7月20日より、週に1度、定期的に入院中の患者さん全員に保菌調査を行ってきた結果、8月3日に実施した第3回目以降、4週にわたり継続して新規陽性患者の発生はみられておりません。よって、現在の感染対策が効果的に作動していると判断できます。

現在、保健所及び外部の有識者にご指導をいただきながら、効果的な感染対策を継続して行っておりますが、今後も、よりいっそう安全で安心していただける療養環境及び診療環境の確保に努めてまいります。そのため、引き続き入院中の患者さん及び入院される患者さんへの保菌調査を継続して実施させていただきます。

当院に来られる患者さん、ご家族の皆様方には、ご心配をおかけしておりますが、引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

三浦市立病院 総病院長 小澤幸弘